

※ 都道府県番号

※ 市区町村番号

※ 事業所番号

※ 産業分類番号

※ 事業所番号

※ 業種コード

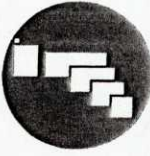
※ 対象区分

最低賃金に関する実態調査

最低賃金に関する基礎調査票

(令和5年6月)

この調査票に記入された事項については、統計以外の目的に使ったり、他に漏らしたりすることはありません。



政府統計

(記入上の注意)

- ※欄は記入しないでください。
  - 令和5年6月1日現在(ただし、2の(8)~(4)については実績ではなく、令和5年6月分の見込み)の状況を記入してください。
  - 記入にあたっては、黒又は青のボールペンを使って、**□**(太線)の中について記入してください。
    - 数字はすべて1, 2, 3, ……の算用数字を①の数字に○で囲んでください。
    - 労働者には以下の者を除きます。ただし、ロ又はハの者でも、一般の労働者と同一ように勤務し、同じ給与規則によって給与を受けている場合は労働者に含めます。
      - イ. 事業主、社長、ロ. 理事、取締役などの役員、ハ. 家族従業員
- (注I) 労働者については以下の者を除きます。ただし、ロ又はハの者でも、一般の労働者と同一ように勤務し、同じ給与規則によって給与を受けている場合は労働者に含めます。
- (注II) 2の(4)について、例えば土曜日など1日の所定労働時間数の半分だけ働く場合は0.5日と数えてください。

1. 事業所に関する事項 (注)

事業所の労働者数(注I) (臨時、パートを含む) 令和5年6月1日現在	男	女	計
	人	人	人

2. 労働者に関する事項

(上記Iの労働者全員について記入してください。ただし、労働者数が30人以上の事業所では、労働者名簿などから、特定の職種等の労働者にかたよらないように、1人おきに選んで、記入してください。)

(1) 一連 番号 10人 目以降は 十の 位の 数字を 記入 してください。	(2) 労働者番号 (番号、記号、氏名 (イニシャル)等ど の方法でも結構です が、後に内容につ いてお尋ねする ことがありますので きに分かるよう にしておいてくだ さい。)		(3) 性別		(4) 就業態 様(パート と臨時労働者 には事業所 指定労働者 区別を記入す る必要があります。)	(5) 年齢 6月1日 現在	(6) 勤続年数	(7) 職種又は仕事の内容 ※対象区分が2の事業所のみ記入してください。例えば、プレス工、溶接工、金属検査工、溶接片付け、洗浄、選別、はんだ付けなどと具体的に記入してください。 なお、技能習得中の方は(技能習得中)と記入してください。	(8) 基本給の賃金形態及び 6月の基本給額 基本給が月給なら月給を、日給なら日給を、時間給なら時間給を、記入してください。 月給の場合は、実績でなく、出勤する場合も含む場合(出来高制の場合は通常の高給で働いた場合)に支払われるべき金額を記入してください。	6月分の諸手当(月額)			(13) (注II) 月間所定 労働日数 月の所定労働日数を記入してください。休日労働は全日労働は含めないで下さい。	(14) 1日の所定 労働時間数 休憩時間を除く。	※ 事務処理欄				
	男	女	一般	パート	歳	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6			
1	1	2	1	2	1	2	3	4	5	6	1	2	3	万円	千円	百円	十円	円	分
2	1	2	1	2	1	2	3	4	5	6	1	2	3	万円	千円	百円	十円	円	分
3	1	2	1	2	1	2	3	4	5	6	1	2	3	万円	千円	百円	十円	円	分
4	1	2	1	2	1	2	3	4	5	6	1	2	3	万円	千円	百円	十円	円	分
5	1	2	1	2	1	2	3	4	5	6	1	2	3	万円	千円	百円	十円	円	分
6	1	2	1	2	1	2	3	4	5	6	1	2	3	万円	千円	百円	十円	円	分
7	1	2	1	2	1	2	3	4	5	6	1	2	3	万円	千円	百円	十円	円	分
8	1	2	1	2	1	2	3	4	5	6	1	2	3	万円	千円	百円	十円	円	分
9	1	2	1	2	1	2	3	4	5	6	1	2	3	万円	千円	百円	十円	円	分
0	1	2	1	2	1	2	3	4	5	6	1	2	3	万円	千円	百円	十円	円	分

(注) 2枚目以降については、「1. 事業所に関する事項」欄は記入する必要はありません。